

き す い

～宍道湖・中海 水質情報～

輝水だより

(第220号)



平成29年3月発行

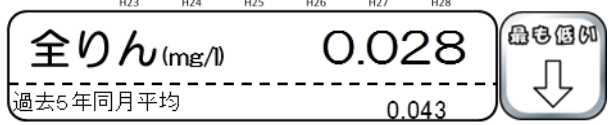
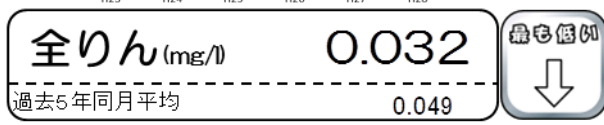
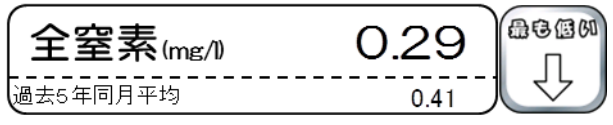
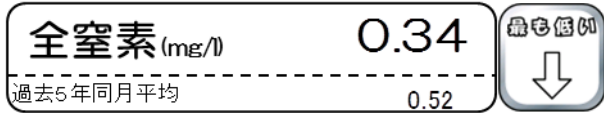
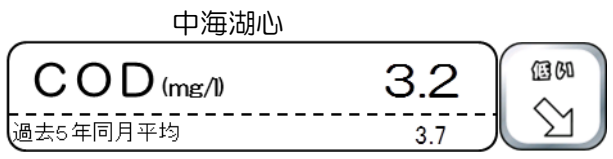
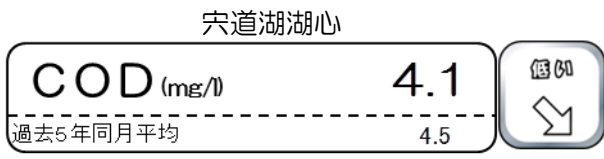
[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課
 宍道湖・中海対策推進室(電話:0852-22-5562)

平成28年12月 の宍道湖・中海の水質状況について、速報値をお知らせします。

〈COD、全窒素、全りん〉

概況

- 宍道湖湖心では、過去5年間（平成23年度～27年度）の同月と比べると、CODは平均値よりも低い濃度、全窒素と全りんは最も低い濃度でした。
- 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、CODは平均値よりも低い濃度、全窒素と全りんは最も低い濃度でした。



穴道湖・中海をもっときれいにするために できることから始めましょう！

家庭での取組

- ・ 鍋や皿の汚れを拭き取ってから洗いましょう。
- ・ 廃食用油は流しに流さないよう、回収にだすか古紙等にしみこませてゴミとして出しましょう。
- ・ 石鹼や合成洗剤は適正な量を使用しましょう。
- ・ 浄化槽をご使用の方は、適正な使用・管理に努めましょう。



コラム

「ワイズ・ユース」という言葉をご存じですか？

日本語では「賢明な利用」などと訳されています。少し難しい表現ですが、「ワイズ・ユース（賢明な利用）」とは、「生態系の自然価値の維持と両立させた方法で、人類の利益のために湿地を持続的に利用すること」と定義されています。

湿地は、私たちの身近にあり、人間の生活環境や社会活動と深い関わりを持っています。このため、ラムサール条約では、人間の行為を厳しく規制して湿地を守っていくのではなく、湿地生態系の機能や湿地から得られる恵みを維持しながら、私たちの暮らしと心がより豊かになるように湿地を活用する「ワイズ・ユース（賢明な利用）」を謳っています。

例えば、1日の漁獲量が適正に管理されているしじみ漁や湖の風景を眺めて楽しむことも「ワイズ・ユース（賢明な利用）」の一つです。

